

平成29年度 麻生区市民提案型協働事業 中間報告

団体名 (白山1丁目・ちょっと支援隊)		
事業名 (第2期・超高齢団地の“支え合い” 立ち上げ事業)		
① 事業 の 概 要	<p>超高齢化した団地で、住民相互の支え合いの重要性を学びつつコミュニティ活動を活発化させ、公的サービスと併用するボランティア型生活支援活動を立ち上げ活動に入る。</p> <p>第2期事業では、前期より深化させた内容で、地域包括ケアシステムや高齢者の健康問題などの勉強会を開き、また、すでに住民の支え合いを実現している首都圏の先進事例を視察し、具体的な活動内容のイメージを明確化する。</p> <p>今期の重点課題は、上記の勉強会等を通じて得た知見、情報をベースに、具体的に“支え合い”の活動を開始する事と、住民相互の親睦を図る活動をより活発化させる事である。</p>	
② 上半 期 (9 月 末 ま で) の 事 業 の 取 組 状 況	<p style="text-align: center;">取組の経過</p> <p>次頁に纏めて記載</p>	<p style="text-align: center;">取組に伴う効果</p> <p>次頁に纏めて記載</p>

1) 講演会 参加者

① 6/18 「よくわかる“地域包括ケア”のすべて」 41名
服部真治氏・医療経済研究機構研究員

② 7/15 「こうやって元気高齢者になろう」 47名
～フレイル予防ってなに?～
飯島勝矢氏・東京大学高齢社会総合研機構教授

2) 先進的な取組組織の視察

① 5/13 看護小規模多機能施設「ゆらりん」 9名

② 9/22 大田区高齢者見守りネットワーク「みま～も」
10名

3) “支え合い”仕組構築、活動の開始 (5/24)

イ) 事前準備

- ・シンボルマークの作成
- ・支え合い利用券の作成
- ・支援フローの整理
- ・ボランティア募集チラシ作成／全戸配布

ロ) ボランティア組織発足

- ・支援する人 (ボランティア) 37名登録
- ・支援を受けたい人 (将来を含む) 29名登録

① 第1回 ボランティア会議 (5/24) 発足

- ・顔合わせ、活動内容の共有 参加者 24名
(地域みまもり支援センター、担当民生委員も出席)

② 第2回 ボランティア会議 (7/28)

- ・ボランティア組織「ポプラささえあい」との情報交換、さつき街区での生活ニーズの情報共有
参加者 21名

③ 広報活動

- ・活動周知の為にチラシをさつき街区全戸配布
(間を置いて2回実施)

4) 居場所“さつき会”発足、活動開始

住民相互の親睦を図る活動の定例化・多様化

5月27日	「さつき会」オープン (お茶会)	26人
6月25日	食事会「お弁当・水菓子」	25人
7月23日	食事会「そうめん食べ放題」	25人
9月16日	食事会「お弁当・和菓子」	19名

5) さつき街区内への“ちょっと支援隊”活動の教宣

さつき第2 (管理組合、自治会) に対しては説明会実施
さつき第1 (管理組合)、間接的説明のみ。

1) 何が重要であるかの認識の共有化

イ) 要支援に至る時期を遅らせる事
・居場所を確保しコミュニティ活動 (社会参加) を活発化させる。

ロ) フレイル予防の重要性

ハ) 要支援者を高感度で把握する

ニ) 要支援の程度に応じて、対応できる体制の構築

ホ) 支え合いの取組体制構築

2) 上半期の取組で、上記1) で認識した内の、イ) ロ) ニ) ホ) については、ほぼ、対応できつつある。

3) ボランティア会議で話し合い、支援が必要な人を把握する事の重要性を皆が認識した。また、日頃から住民同士が声をかけあうことの大切さを共有した。

4) 第1回会議に民生委員の参加があり、ちょっと支援隊活動を認識して頂く機会となった。

5) さつき会には、少数ではあるが、1人暮らしの方や要介護認定のある高齢者も参加もあり、これまで地域活動への参加のなかった閉じこもり傾向のある方を引き出すことにつながった。

<p>③課題と改善方法</p>	<p>1) 要支援者、それに近い人を高感度で把握することが難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと支援隊で取り組もうとしても、プライバシー、個人情報等が絡み、限界がある。 <p>2) “支え合い”活動を立ち上げたが、現段階での利用者が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でやっているか、外部ルートを使用しているか不明。 ・更に高齢化が進めば利用頻度が増えると推定されるが、気軽に利用できることのPRも必要か。 ・さつき会の参加者から生活支援ニーズを拾い、“支え合い”活動につなげる。 <p>3) “支え合い”活動の横展開（グリーンタウン他街区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種ルートを通じてPRしているが、必要性の理解が進まない。 <p>地道な努力の積み重ねが必要。行政ルートを通じての後押しも必要。</p> <p>4) 講演会参加人数が、減少～横這い傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者側としては工夫し、段々、各論をテーマに実施しているつもりだが、聞く人には、様変わりのしない、ほぼ同じテーマの様に感じられている可能性があり。 <p>5) プレゼン可能なパソコン設置 単価2万円の制約が壁になり、未だ設定できていない。</p>
<p>④下半期（3月末まで）の取組予定</p>	<p>1. 講演会、先進的な取組組織の視察、支援隊企画行事（さつき会行事は省略）</p> <p>10月 講演③ 西田新一氏・調布市医師 介護・リハビリ・看護をうまく使って「住み慣れた地域で最後まで」</p> <p>11月 支援隊企画行事「簡単なフレイルチェックと運動機能テスト」 フレイル簡易チェック、運動機能テスト</p> <p>1月 視察③ 東京立川市・都営大山団地 従来型自治会の活性化（佐藤良子）</p> <p>2月 講演④ 藤原佳典氏・都老研部長 「認知症をこう予防しよう」</p> <p>2. 第2期活動の纏めと反省</p> <p>3. 第3期活動（事業計画）作成</p> <p>4. 事業結果報告</p>